

世界経済の新たなフェーズと 日本経済の課題

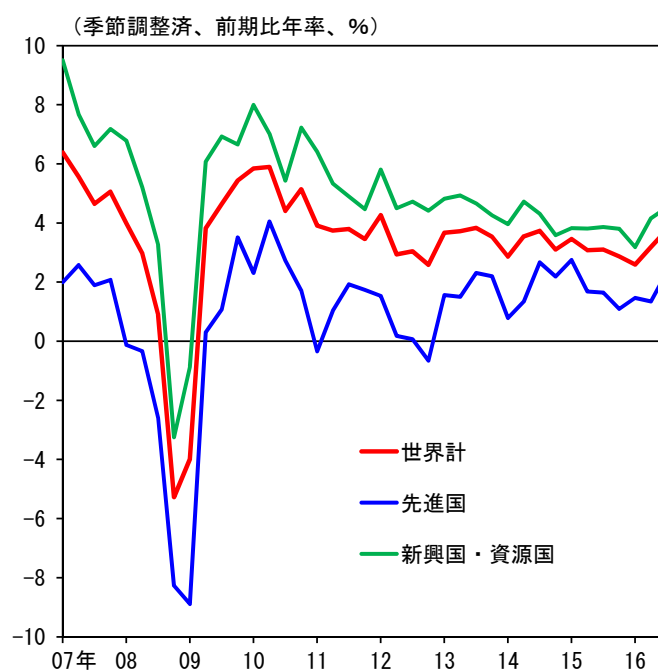
— 日本経済団体連合会審議員会における講演 —

2016年12月26日

日本銀行総裁
黒田 東彦

図表 1

世界経済の成長率



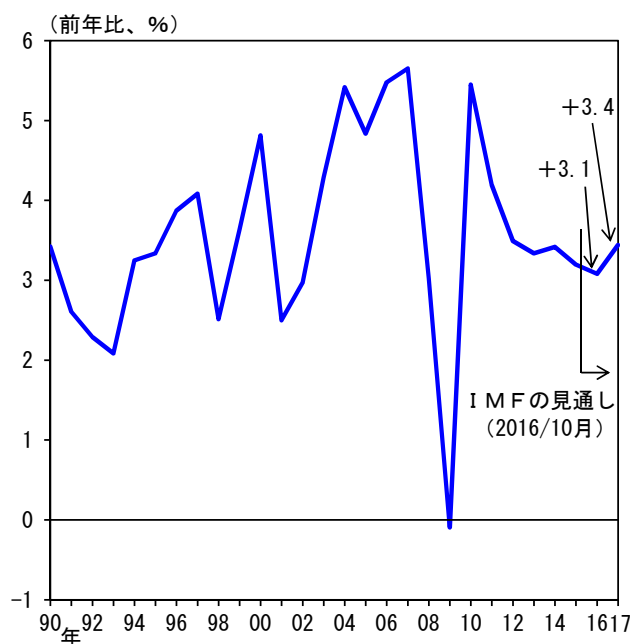
(注) 各国の実質GDP成長率を、IMF公表のGDPウエイトで加重平均して算出。
(資料) IMF、各国統計局、Haver、Thomson Reuters Datastream、CEIC

IMFによる世界経済の成長率見通し

主要国成長率見通し (2016/10月時点)

	(前年比、%)			
	2014年	2015年	2016年 [見通し]	2017年 [見通し]
世界	3.4	3.2	3.1 (0.0)	3.4 (0.0)
先進国	1.9	2.1	1.6 (-0.2)	1.8 (0.0)
米国	2.4	2.6	1.6 (-0.6)	2.2 (-0.3)
ユーロエリア	1.1	2.0	1.7 (0.1)	1.5 (0.1)
日本	0.0	0.5	0.5 (0.2)	0.6 (0.5)
新興国・途上国	4.6	4.0	4.2 (0.1)	4.6 (0.0)
中国	7.3	6.9	6.6 (0.0)	6.2 (0.0)
ASEAN5	4.6	4.8	4.8 (0.0)	5.1 (0.0)

世界経済成長率の推移



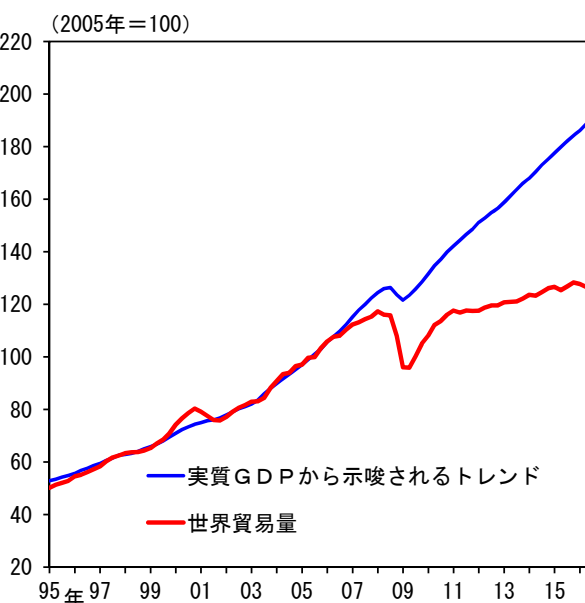
(注) カッコ内は、前回見通し (2016/7月時点) からの変化。ASEAN5は、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム。
(資料) IMF

世界貿易量

世界貿易量の伸び率



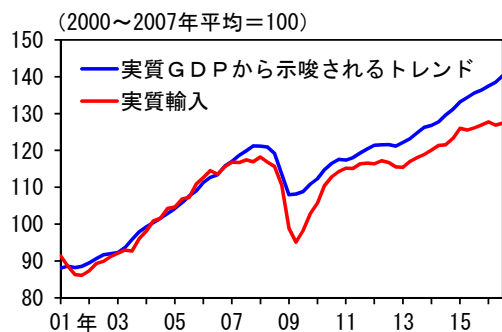
世界貿易量の水準



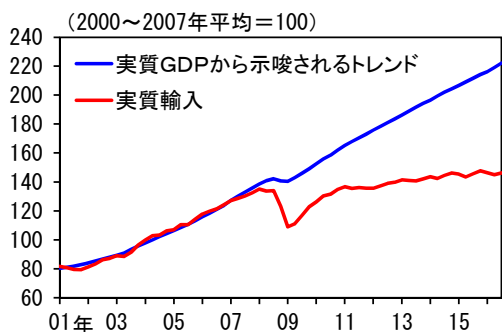
(注) 1. 世界貿易量は、各国の実質輸入を合計した値。
2. 世界貿易量のトレンドは、2007年以前の世界貿易量と世界GDPの関係に基づく推計値。
(資料) オランダ経済政策分析局、IMF、各国統計局、Haver、Thomson Reuters Datastream、CEIC

世界貿易量（実質輸入）の内訳＜地域別・財別＞

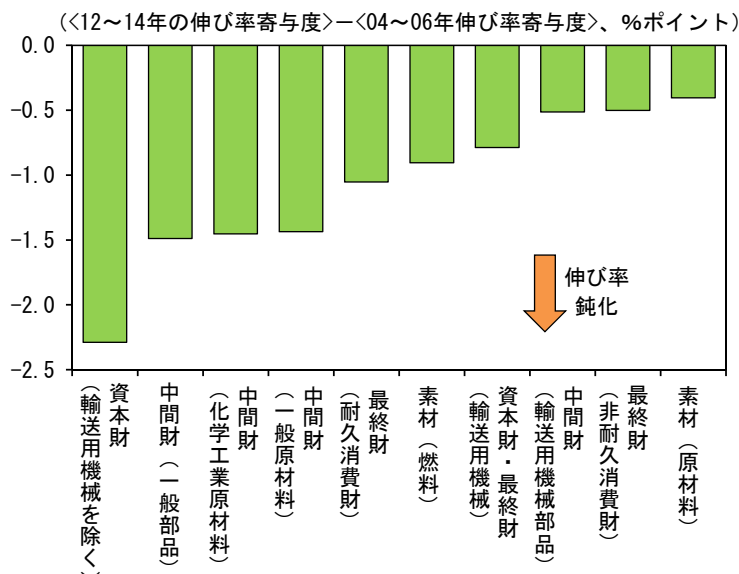
先進国の実質輸入



新興国の実質輸入



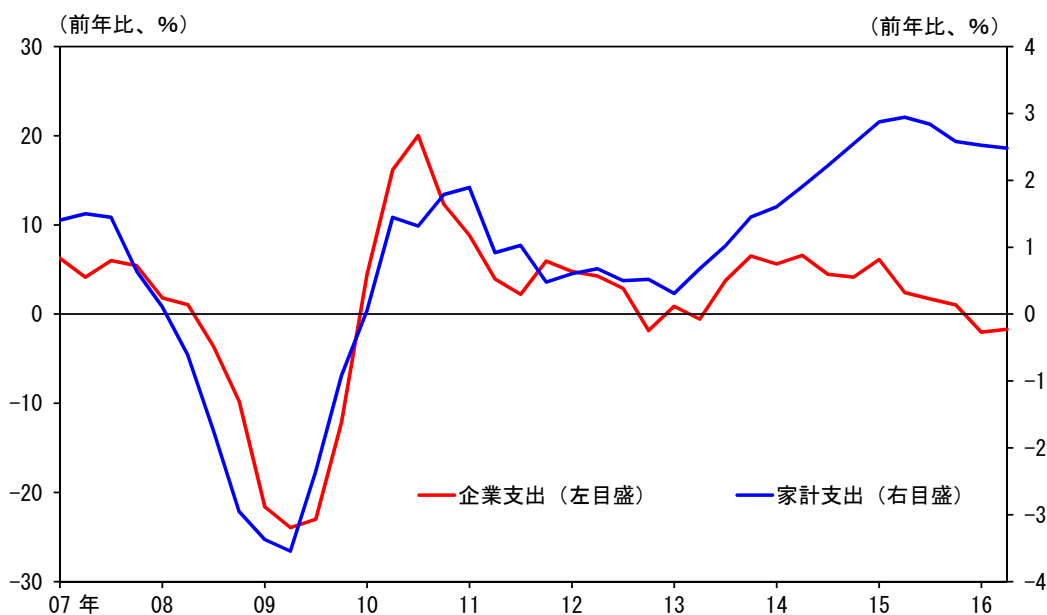
財別にみた実質輸入の変化



(注) 財別実質輸入量の変化は、世界貿易量の伸び率の変化に対する寄与度。

(資料) オランダ経済政策分析局、Haver、CEIC、UN Comtrade

先進国の企業支出と家計支出

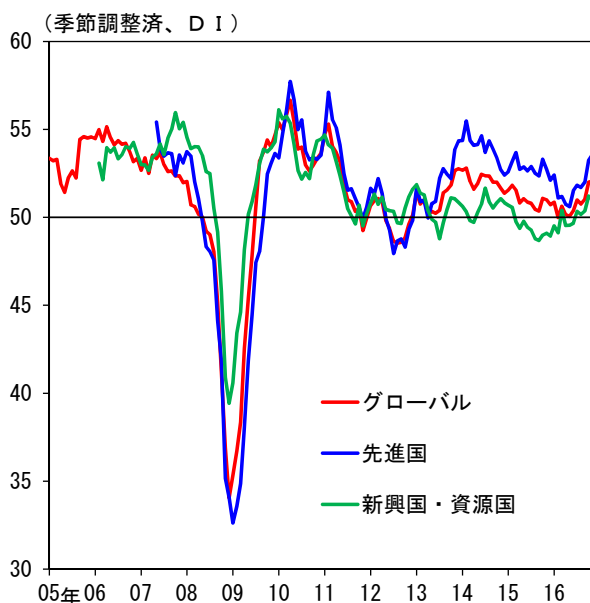


(注) 先進国は米国、英国、ユーロエリア。企業支出は設備投資と在庫投資、家計支出は個人消費と住宅投資。ただし、ユーロエリアの企業支出は総固定資本形成。

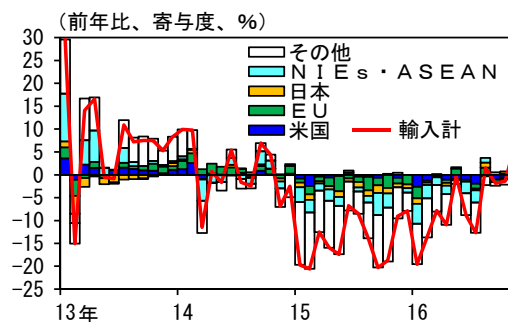
(資料) Haver

製造業PMIと新興国の輸入

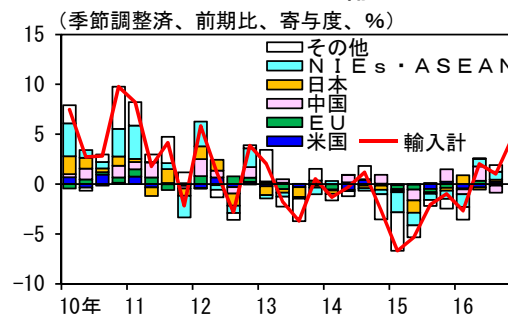
グローバル製造業PMI



中国の輸入



ASEANの輸入



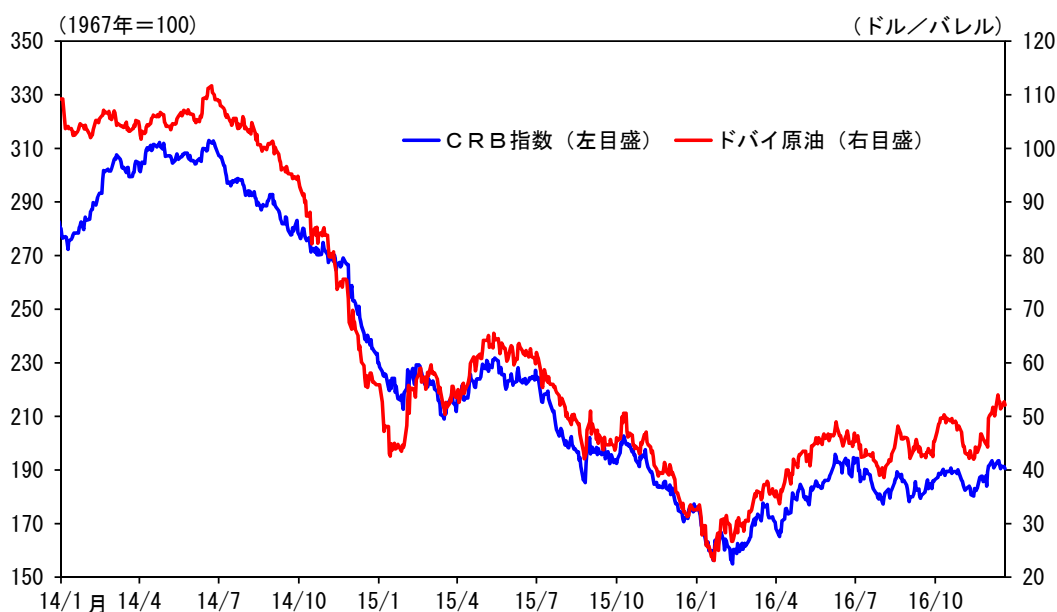
(注) 1. 製造業PMIのグローバルは、J.P.Morganグローバル製造業PMI。先進国は4か国・地域（米国、ユーロエリア、英国、日本）、新興国・資源国は17か国・地域（中国、韓国、台湾、ロシア、ブラジルなど）の製造業PMIを、IMF公表のGDPウイトで加重平均したもの。

2. 中国およびASEANの輸入の内訳は、輸入元の国・地域を表す。

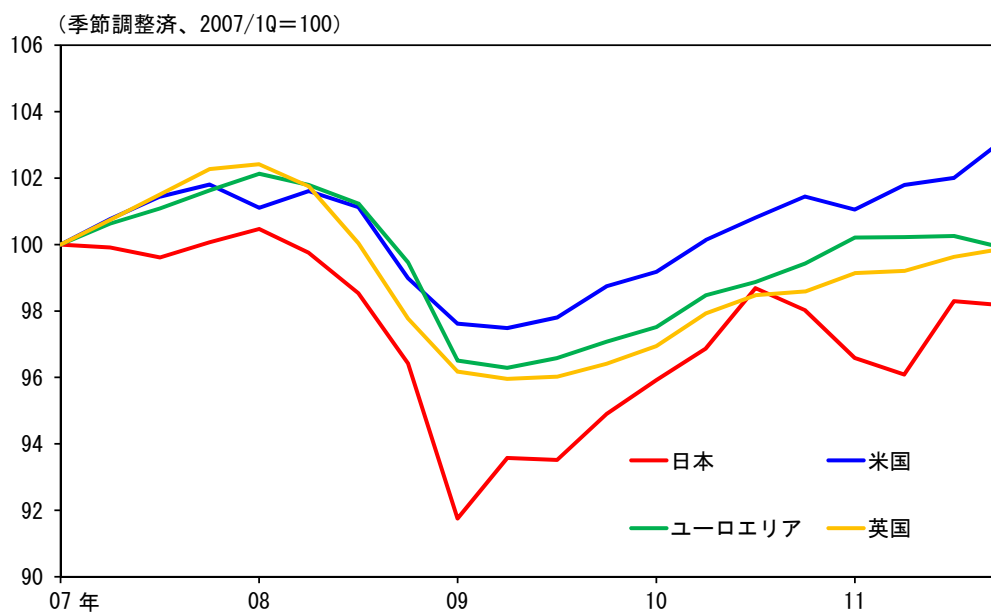
(資料) IMF、IHS Markit (© and database right IHS Markit Ltd 2016. All rights reserved.)、Haver、CEIC

コモディティ価格

国際商品指数と原油価格



グローバル金融危機後の先進国の実質 GDP

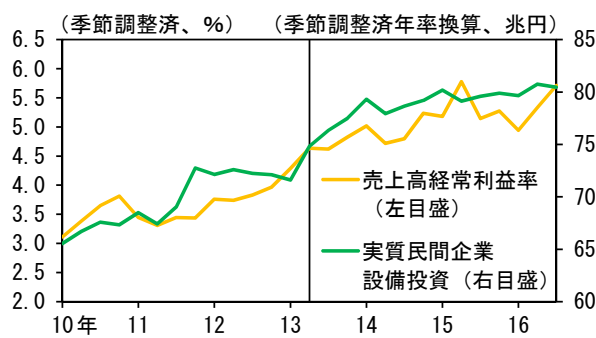
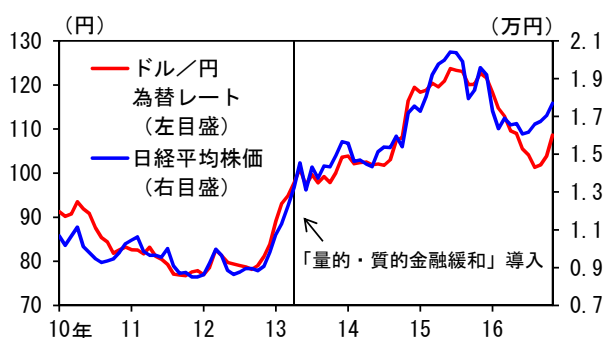


(資料) 内閣府、Haver

「量的・質的金融緩和」導入後の経済・物価情勢

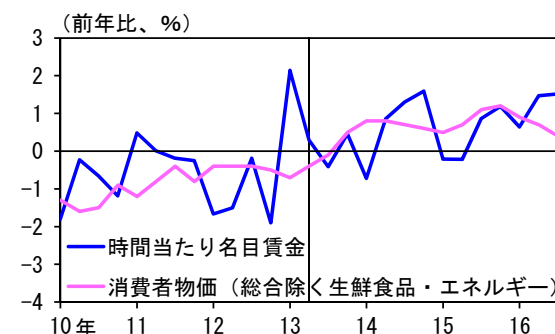
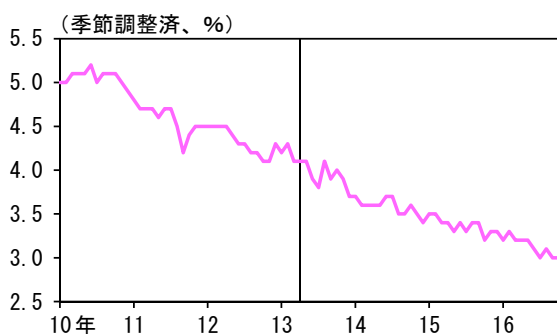
為替レート・株価

企業収益・設備投資



失業率

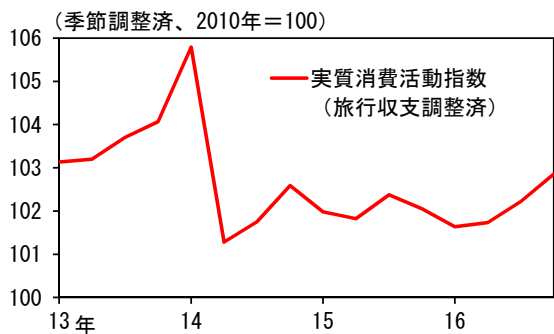
賃金・物価



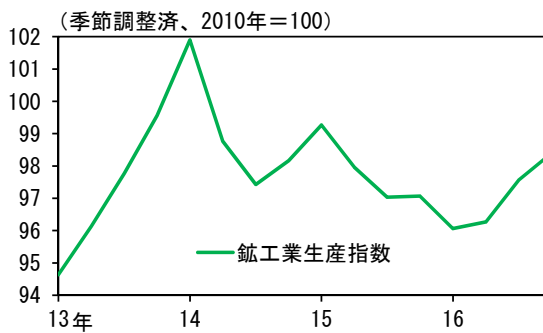
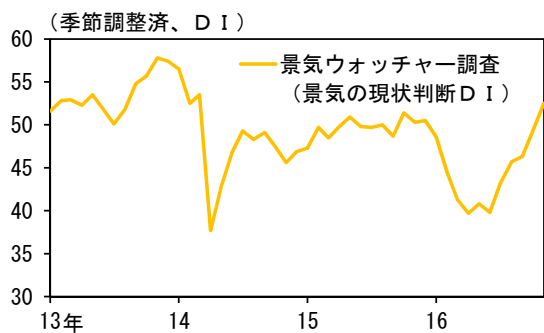
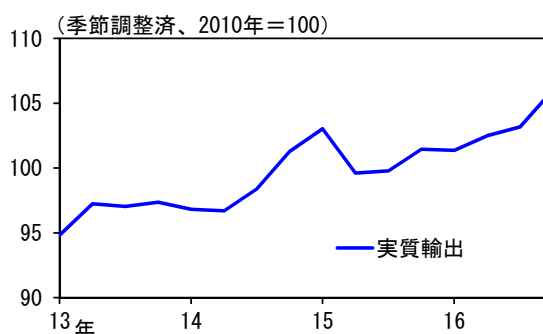
(資料) Bloomberg、財務省、内閣府、厚生労働省、総務省

足もとのわが国経済

消費関連指標



輸出・生産関連指標



(資料) 日本銀行、財務省、内閣府、経済産業省